

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 本体に熱湯を入れケン酸を約10g加える。
 - ② 約3時間後にスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご利用いただけます。
 - 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る こ と こ	処 置
■保冷が効かない	本体が破損していませんか？本体に熱湯を入れ、20分～30分後本体を手でさわってみてください。	本体が温かい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ① ホームページ…………トップページのオンラインショップからお求めください。
(取扱部品が限られていますが、ご了承ください。)
- ② 販売店……………ピーコック製品を取り扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ 客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名

IBC型 アイストラップ
IBC型 木ぶた

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

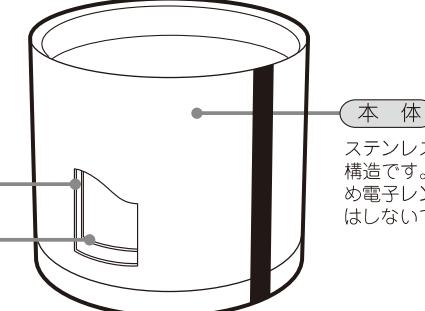
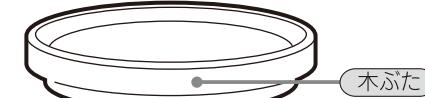
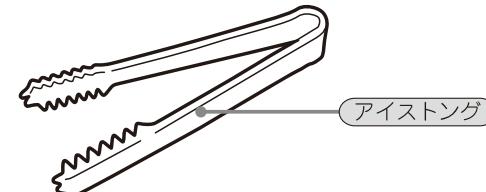
保冷専用

IBC

ミニアイスペール

取扱説明書

各部のなまえ



ステンレス製真空二重構造です。金属製のため電子レンジでの加熱はしないでください。

取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。①

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

保冷以外の目的に使用しない

- 乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。
けなど危険。
- ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。変形・変色の原因。
- 真空層の内部から水の音がする場合は使用しない。
保温・保冷性能が低下するおそれ、また、真空層にたまつた水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。
- 倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・水がもれる原因。
- 不安定な場所に置かない。
転倒して内容物がこぼれ、ものを汚したり、故障や事故の原因。
- 本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。
はがすと保冷効果が低下するおそれ。
- プラスチック袋(製品袋)を頭から被ったり、顔を覆ったりしない。
窒息するおそれ。
- アイスピックなど先のとがったもので突かない。
傷・もれ・変形および保冷できなくなるなど故障の原因。
- アイストレングで氷を割らない。傷・もれ・変形など故障の原因。
- アイストレングを使用するときは指をはさまないよう注意する。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。
- 冷凍庫に入れない。もれなど故障の原因。

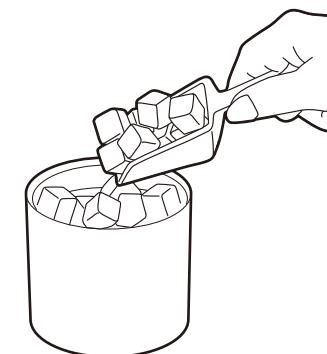
木ぶたのご注意

- 電子レンジでの加熱はしない。
- 冷凍庫・冷蔵庫に入れない。変形などのおそれ。
- 木ぶたの上に油分が多いもの、熱いものは載せない。

ご使用方法

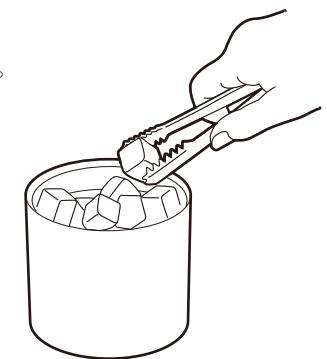
1 氷を入れる

本体を平らな場所に置き、
静かに氷を入れる。
※氷を入れる際は勢いよく
入れないように注意する。
傷やサビ・破損の原因。



2 氷を取り出す

アイストレングで氷を取り出す。



ご使用前に本体・アイストレング・木ぶたを洗ってからご使用ください。

お手入れの方法

- ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体・アイストレング

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ洗いはしない。

木ぶた

ぬるま湯で洗い流し、すぐに乾いた布で水分をふきとり、風通しのよい場所で陰干しする。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。サビなどのおそれ。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。
傷・サビなど故障の原因。
- 本体の煮沸および食器洗浄機や食器乾燥機などの使用はしない。
傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いていますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。
- 本体・アイストレングを丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

木ぶたのご注意

- ご使用後は、すぐに洗って水分をふきとり、風通しのよい場所で陰干ししてください。
- 急な乾燥によるひび割れや変形を防ぐため直射日光や温風、食器洗浄機や食器乾燥機などの使用はしない。変形などのおそれ。
- つけ洗い(水中に放置)はしない。変形・塗装はがれのおそれ。